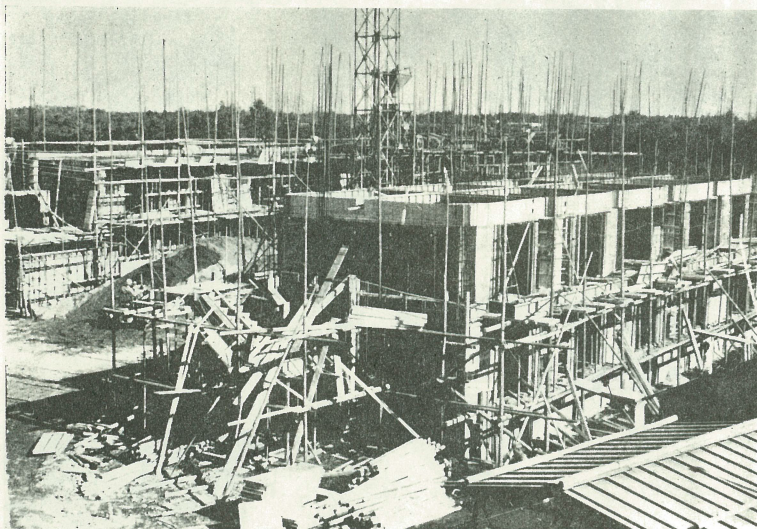


壬生町政だより

住民登録人口

昭和41年11月1日現在		対前月比
総人口	24,155人	28人増
男	11,900人	18人△
女	12,255人	31人△
世帯数	5,044世帯	11世帯増

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行) 昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部4円70銭

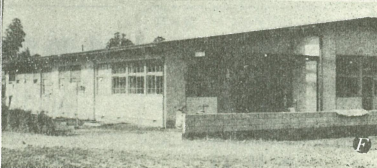
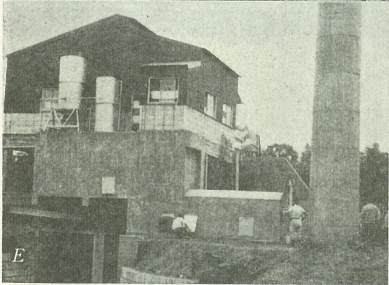
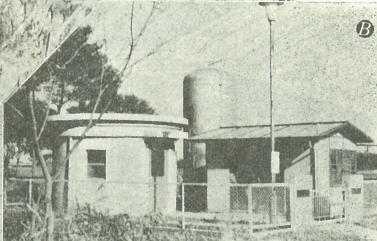
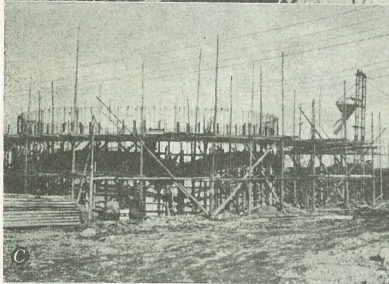
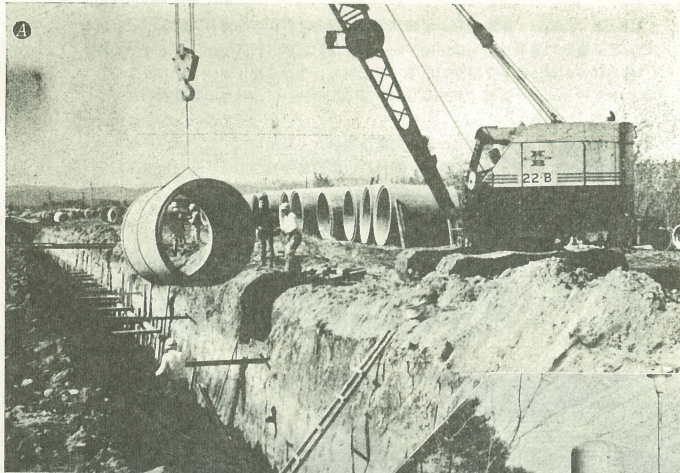


明日への希望をかなえる コンクリート・ミキサーの音

移転就職者用宿舎

国の雇用促進事業団の移転就職者用宿舎は、昭和41年7月23日（壬生町安塚、おもちゃの駅南側、県道国谷—石橋線の立体交差の北側）起工し、その後着々と工事が進んでいます。

これは転職者のためのアパートで、敷地は5,115㎡、鉄筋コンクリート4階建延べ1,980㎡、40世帯収容のもの2棟です。1戸は6畳と4畳半のほか、浴室、便所、炊事場など約33㎡、家賃は3,700円～4,000円で入居資格者は職業安定所の紹介者、工期は41年度中で、この種の宿舎は県内では小山市、石橋町、壬生町、佐野市の4市町です。



写真①④下水道工事現場
 ③上水道第五水源池
 ②工事中の終末処理場第一消化槽

ついにあたり本町発展の礎は、ここに定まったと確信いたしました。終了した事業もあり、今後数年を要するものもありますが、町民各位の絶大なご協力により完成されるよう念願して止みません。長い間のご協力、ご厚意に対し厚く御礼申し上げます。

写真①⑤1日10トンの焼却能力のあるじん芥焼却場
 ④はつらつと児童の遊ぶ第3保育所
 ⑥母子健康センター

退任のご挨拶

壬生町長 小田垣健一郎

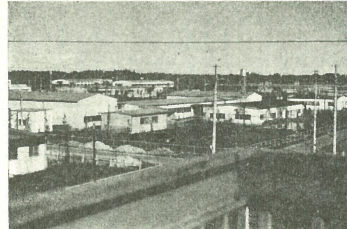


小田垣 健一郎

今回、私は町長の任期満了です。これらの重要条件を町政に伴い、退任致しますので、に繰りこんで、農工商の両善した。ご挨拶申し上げます。

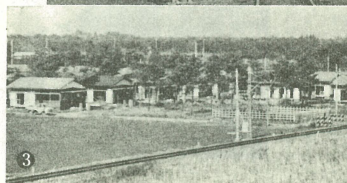
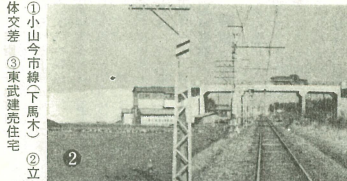
私は町長に就任しましたのは、八年前の昭和三十三年二月十七日でした。爾来二期八年の長きに亘り、町民各位の絶大なご協力により、大過なその任を果し得ましたことを衷心より感謝する次第であります。

現今、地方公共団体の課題は、国の政策に準じて、日本の人口増による食糧問題、人口の都市集中化の問題であります。これに関連して大きな問題は農業の近代化であります。



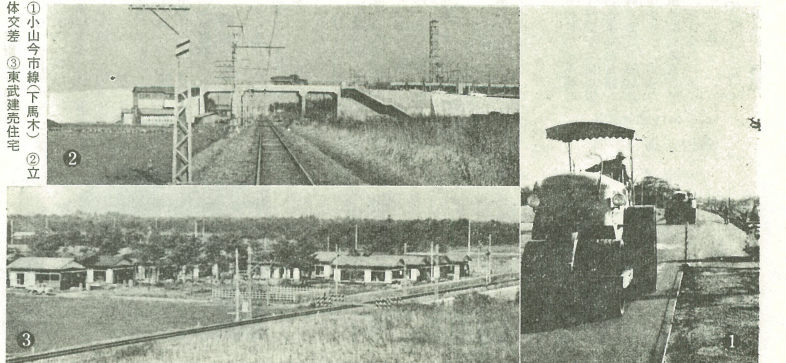
25社が操業しているおもちゃ工場団地

また、工場誘致は本町多年の念願でありましたが、壬生高の設置をみたの先に、新しい、都市計画の策定、設置備は就任初より着々と成果を取つてまいりました。農業問題も、やがて近題の近代化は、今後二十年、代的都市化への第一歩であるいは三年に亘り、論議一歩を印したので、され、実施されるものと考えられます。壬生町、然しながら、現在週辺の主要農道の土地基盤整備として、土地改良舗装は、私の改良事業を推進してきました。在任中に殆んど完了であり、農業構造改善事業も、本年度指定、来年度に亘る大計である訳であります。特に二つの公共下水道終末処理農協の合併により、その発展事業（投入も併は期して待つべきものがあり



用）を五カ年連続事業で実施し、現在その第二目当る訳であります。それに伴い、じん芥焼却場はすでに完成し、水道事業なども併せ行い、これらにより環境衛生を整備し、住よい清潔な町づくりは、著しく向上する基礎が出来たとの信じております。三地区に第一、第二、第三保育所を設置し、稲葉地区に母子健康センターを設けましたのも同様の趣旨であります。電話自動化の問題も、公社用地を壬生地区と安塚地区の二カ所に買収済で昭和四十二年度から着手されます。

次に教育の振興と農業問題であります。高等学校の誘致は本町多年の念願でありましたが、壬生高の設置をみたの先に、新しい、都市計画の策定、設置備は就任初より着々と成果を取つてまいりました。農業問題も、やがて近題の近代化は、今後二十年、代的都市化への第一歩であるいは三年に亘り、論議一歩を印したので、され、実施されるものと考えられます。壬生町、然しながら、現在週辺の主要農道の土地基盤整備として、土地改良舗装は、私の改良事業を推進してきました。在任中に殆んど完了であり、農業構造改善事業も、本年度指定、来年度に亘る大計である訳であります。特に二つの公共下水道終末処理農協の合併により、その発展事業（投入も併は期して待つべきものがあり



農業構造改善事業

促進対策のあらまし ①

農業構造改善事業に関連する土地改良事業と、その補助率について

事業名	工 種	採 択 基 準	補 助 率
I 県営土地改良事業	① かんがい、排水事業	① かんがい、排水事業 ② 畑地かんがい	75%
		① かんがい、排水施設管理廃止又は変更であって受益面積300ha以上で末端支配面積100ha以上 ② 畑地かんがい、排水施設の新設、管理廃止又は変更であって100ha以上で末端支配面積20ha以上	
I 団体営土地改良事業	① かんがい、排水事業	① かんがい、排水施設の新設、管理、廃止又は変更であって受益面積20ha以上で末端支配面積5ha以上 ② 区画整理事業及び区画整理事業とこれに附帯して施行することを相当する。かんがい、排水工事、畑地かんがいのうちいずれかかの工事を一体として施行する事業受益面積20ha以上	50%
	② 圃場整備事業		50%
II 県単独土地改良事業	① かんがい、排水事業	① 1団地おおむね5ha以上	30%
	② 機械揚水事業	〃	45%
	③ 暗渠排水事業	〃	15%
	④ 区画整理事業	〃	20%
	⑤ 床舗客土事業	〃	15%
	⑥ 畑地かんがい、排水事業	〃	30%
	⑦ 干害防止恒久施設事業	〃 10ha以上	45%
	⑧ 圃場整備事業	〃 5ha以上	45%

(高、融資については、どの事業も地元負担金の80%で充てられません。)

本事業については、毎月お知らせしてありますから、農家の皆さんには十分おわかりのことと思います。

今回は、農業構造改善事業が定額補助であるために、自然実地地区において、もき上点として決定されることになるかと思っております。一般に基盤整備を自主的に進めようとする意欲の旺盛な農家の方々に失望を感ずることのないよう、関係する土地改良事業名と、その補助率等をお知らせして、ごしし事業をすすめ、基幹となる労働力の減少、省力化、機械化に対応して安定した経営の出来ますよう、心がけて下さい。

(図標を参照)

新築移転した南犬飼郵便局



このほど南犬飼郵便局が、役場南犬飼支所隣り、県道栃木字都宮線に面して新築(建坪八五・〇五平方メートル)され十一月一日から局舎移転して仕事をしています。

局長の理由は、官製と私製が混在する点に御協力下さい。農業(農業用)電、東京市内、県内、他県など、と明記した紙をそえて、たばねに、都道府県名番地何々方まで、アパート団地支所に隣接して、いるものであります。

年賀状はお早く

年賀状を出すときは、次の点に御協力下さい。

◆官製と私製が混在する点に御協力下さい。農業(農業用)電、東京市内、県内、他県など、と明記した紙をそえて、たばねに、都道府県名番地何々方まで、アパート団地支所に隣接して、いるものであります。

南犬飼支所

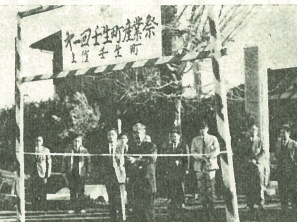
壬生町は、役場南犬飼支所隣り、県道栃木字都宮線に面して新築(建坪八五・〇五平方メートル)され十一月一日から局舎移転して仕事をしています。

局長の理由は、官製と私製が混在する点に御協力下さい。農業(農業用)電、東京市内、県内、他県など、と明記した紙をそえて、たばねに、都道府県名番地何々方まで、アパート団地支所に隣接して、いるものであります。

第一回壬生町産業祭

知事賞(玄米)小田垣彦四郎氏(和牛)板橋多一郎氏

産業祭のテープを切る小田垣長



第一回壬生町産業祭が十一月の二十七八の両日、壬生町中央公民館及び壬生小学校庭で盛大に開催されました。

これは、毎年行われていた農業祭や畜産共助会などの、工業、商業部門の製品、特産品を加えて、壬生町のために名も産業祭と改めたためです。

当日の出品展示は、農業の部では、穀類四六七点、野菜一〇四点、その他三三若各畜産品二九頭、農産物六品六件、農具の展示は十社、工業の部は八社、商工会の部約五、〇〇〇人、大変町民の好評を得ました。

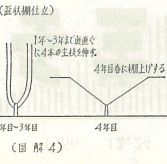
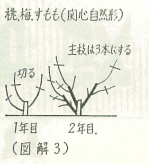
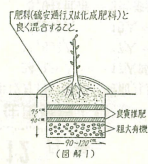


右「若令牛」の審査風景
左「子ども」の目をひくおもちゃ

果樹類の植付け方



- 1、苗木の植付け方
十一月十五日から取扱いし、苗木は、遅くとも二十日頃までにお出下さい。
- 2、植穴
直径九〇cm、深さ七五〜九〇cm
- 3、有機物及び肥料(一木当り)
粗大有機物一〇〜一五kg
良質堆肥四〜六kg
硫酸一〇〇g
過磷酸一五〇g又は化成肥加一五〇g
- 4、植付け方法(図解1)
①苗木は、(補、栗、りんご、梅、すもも、等)地上六〇〜七五cm前後の芽の充実した所を切り、(図解2、3、4)



城東町裏が舗装になります

壬生町城東町から南に通ずる壬生笹原線、延長一六八m、巾員一・九mが舗装工事を行っています。

これは、最近四輪車の交通がひびきんで、路盤がこれら雨天には水がはねて困っているため、地元町民の要望があったので、舗装工事を行った。

壬生笹原線

壬生町城東町から南に通ずる壬生笹原線、延長一六八m、巾員一・九mが舗装工事を行っています。

これは、最近四輪車の交通がひびきんで、路盤がこれら雨天には水がはねて困っているため、地元町民の要望があったので、舗装工事を行った。

